

【様式】

令和5年度 学校マネジメントシート

学校名 (いなべ総合学園高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像	<p>自主自律のもと「生徒一人ひとりの能力の伸長」と「教職員の達成感」を常に追い求め、地域の人々に信頼される学校を目指します。</p>
(2)	<p>育みたい 児童生徒像</p> <p>○ 自己管理ができ、進路実現に向け主体的に学習や部活動等の教育活動に取り組んでいます。</p> <p>○ 人間関係力やコミュニケーション能力があり、チームとして活動ができます。</p> <p>○ 地域社会に興味・関心を持ち、主体的に社会貢献に取り組んでいます。</p>
	<p>ありたい 教職員像</p> <p>○ 学校全体の情報共有・意思疎通を図り、「誰のため」「何のため」を意識して、教育活動に取り組めます。</p> <p>○ 言葉だけでなく、自らの姿(行動)からも教え育てます(「率先垂範」)。</p> <p>○ 生徒に寄り添い、生徒と対話し、一人ひとりの力を引き出します。</p> <p>○ 仕事にやりがいを感じ、生徒の成長を自らの喜びとします。</p>

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p>〈生徒〉 進路実現に向け、充実した高校生活。</p> <p>〈保護者〉 安全・安心で師弟同行が感じられる充実した学習環境。</p> <p>〈地域〉 学校の専門知識や施設の提供による地域の活性化。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	<p>連携する相手からの要望・期待</p> <p>〈家庭〉 連携・協力するにあたって、学校の現状や課題の共有。</p> <p>〈中学校〉 高校生活や進路状況等、情報の提供。</p> <p>〈地域〉 地域の活性化のための若い力の提供。</p>	<p>連携する相手への要望・期待</p> <p>〈家庭〉 本校教育方針への理解と協力、共に育てるための信頼と連携。</p> <p>〈中学校〉 効果的な指導をするための生徒の情報共有。</p> <p>〈地域〉 本校教育活動への理解、共に育てるための信頼と連携。</p>
	(3) 前年度の学校関係者評価等	<ul style="list-style-type: none"> 働き方改革を進めるにあたっては、本来教師がすべき仕事と教師でなくてもよい仕事についてしっかり考えたうえで、対応するべきである。 総合学科ということで、科目の選択をはじめ、子どもたちが選択を迫られる機会が多いことは、いなべ総合学園の強みである。子どもたちに寄り添い、主体的に選択できるよう指導してほしい。 中学校卒業までに選択することが少なかった子どももあり、高校で選択を迫られることに負担を感じる子どももいることから、日頃からの関わりを大切にほしい。 18歳成人に関して、保護者の立場からは大きな戸惑いを抱いているので、消費者教育などしっかり取り組んでほしい。 計画に基づき、しっかり取組を進めていただいているので、引き続き、家庭・地域と連携した取組を進めてもらいたい。

(4) 現状と課題	教育活動	<p>○学習指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学力向上を図るため、学習習慣の確立や学習意欲の向上に向けた取組が必要です。年次と教科が連携し家庭学習時間の増加に向けての取組が進められていますが、生徒個人個人の差が大きいのが現状です。主体的・対話的で深い学びの実現、ICTの有効活用等、生徒の興味・関心を引き出す魅力ある授業づくりに継続的に取り組みます。 <p>○進路指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の進路は多岐にわたり、多様な対応が求められています。社会の動向や生徒の実態を踏まえ、進路指導部と年次の連携のもと進学・就職共に良い結果に繋がるよう、キャリア教育、公務員対策や課外授業などの更なる充実を図り、生徒の進路実現に取り組みます。 <p>○生徒指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 落ち着いた教育環境の中、生徒は学習活動に取り組んでいます。今後もいじめの早期発見・早期対応に取り組むとともに、生徒会等と連携し、規範意識の向上や命を大切に生き抜く力の育成に積極的に努めます。 <p>○保健管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 元気で活発に高校生活を送ることが大切です。心身の健康に関する知識や関心を高めるため、引き続き健康教育及び環境教育の充実、相談できる体制づくりに取り組みます。
	学校運営等	<p>○開かれた学校づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の最新情報をホームページや説明会等により積極的に情報発信し、本校の魅力を多くの人に伝える取組を引き続き行います。 <p>○学校経営改革について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 信頼される学校を実現するため、行動計画を策定し積極的に実践します。また、風通しの良い職場環境づくりに努め、課題や情報の共有、課題解決に向けた現職教育(校内研修)の実施等により、教職員一人ひとりの資質能力の向上に努めます。 ・ 教員が心にゆとりを持つことで、充実した教育活動が実践できると考えられることから、総勤務時間の縮減に向けて会議時間の縮減等、更に具体的に取り組んでいきます。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習習慣の確立や学習意欲の向上に向け、引き続き、生徒の興味・関心を引き出す魅力ある授業づくりに積極的に取り組んでいきます。 ・ 進路保障の充実に向け、キャリア教育や課外授業等において、成果を見据えた取組をしていきます。 ・ 成年年齢18歳を見据え、成人として必要な知識・技能を生徒が身に付けられるよう取り組むとともに、基本的生活習慣や規範意識(美化意識)の確立など社会性の育成に向け、生徒会を中心に保護者や地域と連携し、生徒自身が自発的に意識を高めていく雰囲気づくりに取り組んでいきます。 ・ 命を大切にし、生き抜く力の育成に向け、人権教育や危機管理教育等、意識の向上に繋がる取組を積極的に行います。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校の最新情報等をホームページなど様々な角度から情報発信し、本校の魅力を多くの人に伝える取組を積極的に行います。 ・ 信頼される学校を目指して、行動計画を策定(更新)し積極的に実践します。また、風通しの良い職場環境づくりに努め、課題や問題の共有、その課題解決に向けた現職教育(校内研修)の充実など積極的に取り組んでいきます。 ・ 総勤務時間の縮減に向け、会議時間の縮減など、具体的に取り組んでいきます。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
○学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒一人ひとりの学力の伸長を図ります。上位層・下位層の引き上げを重点的に行う方法を研究します。 ・ 授業の創意工夫と改善に努め、主体的・対話的で深い学びの実現やICTの有効活用等により、きめ細かい授業展開を推進します。家庭学習の強化など教職員間の情報共有を図り、生徒のよりよい進路希望実現に向けて授業改善に努めます。 ・ 「産業社会と人間」や「IVYタイム(総合的な探究の時間)」におけるキャリア教育を通して進路希望の実現を図ります。 ・ 予習・授業・復習のサイクルで学習習慣の確立に努めます。提出物の徹底と期限を守れるよう指導します。 ・ 生徒の進路決定の実現に向けて、定期的な面談を通じて、きめ細かく指導します。 ・ 年次と教科の連携を強め、生徒の情報共有を図ることで、学習習慣・生活習慣の確立を推進します。 		
○進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進路ガイダンスや保護者説明会、三者懇談を通して、生徒・保護者との相互理解を図り、生徒の進路実現に向けた協力体制を構築します。 ・ 各年次と分掌との連携を強め、生徒に必要な情報を共有し、計画的な進路指導を行います。 ・ 定期的な個人面談を通じて現状把握を行い、生徒の進路実現につながる科目選択ができるよう指導します。 ・ 「産業社会と人間」や「IVYタイム(総合的な探究の時間)」などキャリア教育を充実させ、生徒の進路意識を高めます。また、地域と連携した学習を通して、社会貢献できる人材育成に取り組めます。 ・ 進学に関しては、国公立大学合格を目指し、いなべ特進塾や夏季課外の充実により一般選抜に対応できる高い学力の養成を図るとともに、総合型選抜、学校推薦型選抜にも対応できるように面接指導・小論文指導などを進めます。 ・ 就職に関しては、計画的・継続的な問題演習により基礎学力の向上を図り、面接指導を充実させることで、就職内定100%を目指します。また公務員志望者には早期から対策問題演習に取り組ませることで学力向上とともに意識を高め、進路実現に繋がります。 	(年度末および適宜記載)	
○生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣の確立に努め、学校生活が有意義で興味深く、充実したものになることを目指します。 ・ 学校や社会全体の規則の遵守とマナーの向上に取り組めます。 		

○保健管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全教育の徹底、環境美化の推進を目指します。 ・ いじめの早期発見・早期解決を目指すとともに、いじめを許さない雰囲気形成します。 ・ 人権に配慮した生徒指導を行います。 ・ 各分掌や各学年と連携を図り、学校全体での生徒指導を心がけます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保健環境委員会活動を通じて、心身の健康に関する知識、関心を高めます。また、環境美化の活性化を図ります。 ・ 定期的に保健通信を発行し、感染症対策の意識向上、健康を守るための知識を指導します。 ・ 生徒がいつも安心して来室でき、心身ともに休むことのできる保健室を目指します。 ・ 心に悩みのある生徒を教育相談につなぎ、広くカウンセリング室の利用を図ります。 ・ 保健環境部が中心となり、各年次、生徒指導部、外部機関等と連携を図りながら、心に悩みのある生徒の支援に努めます。 ・ 学年やチューターと協力して、ゴミの分別への啓発活動を行い、その習慣を身につけるよう指導します。 ・ 日常の積極的な清掃活動の推進を図り、校内美化に取り組みます。 ・ 教室等の整理整頓を意識させ、学習環境の整備を図ることで、学習意欲の向上につなげていきます。 ・ 新しい取組として、学校環境週間を2ヶ月に1回を設定し、「節水・節電・清掃活動・物を大切にする」の4つの観点を、各教科・LHR・あらゆる学校生活を通じて、主体的に取り組む意欲と態度を育みます。 		
改善課題			
(年度末に記載)			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
○保護者・地域住民等との連携・情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者や地域に向けて、ホームページや広報冊子などで積極的な情報発信に努めます。 ・ 学校説明会(10月14日)の内容を充実させ、中学生及び保護者に向けて、本校の魅力発信に努めます。 ・ きずなネットなどを利用して、生徒及び保護者に学校行事予定の定期的な発信や緊急連絡の発信に努めます。 ・ 台風や大雪などの緊急連絡について、できるだけ早い段階で判断し通知するよう努めます。 ・ 年次通信を定期的に発行し、学校の様子を保護者に伝えます。 	(年度末および適宜記載)	

<p>○働きやすい 職場環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三者懇談会で、保護者に丁寧に分かりやすく学校の様子を伝えます。 ・ 進路別保護者会などにおいて、保護者のニーズに合った情報を分かりやすく提供します。生徒、教職員、保護者の三者が一体となれるよう、連携の強化に努めます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教職員が健康を保持し、私生活を充実させるため、定時退校日の設定や会議時間の縮減等に取り組み、総勤務時間の縮減を図ります。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 定時退校週間に1日以上定時退校 できた教職員の割合:95%以上(昨年度 91.0%) ② 部活動休養日を週1日設定し、休養日を 実施できた部活動の割合:100%(昨年度 99.2%) ③ 放課後に開催し60分以内に 終了した会議の割合:80%以上(昨年度 72.1%) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 1人当たりの月平均 時間外労働:20 時間以下(昨年度 26.3 時間) ② 年 360 時間を超える 時間外労働者数:0人(昨年度 25 人) ③ 月 45 時間を超える 時間外労働者の延べ人数:0人(昨年度 39 人) ④ 1人当たりの年間 休暇取得日数 26 日(昨年度 25.6 日) <ul style="list-style-type: none"> ・ 良好な学習環境のための適切な施設整備及び一般的な消耗品の在庫管理を行います。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①各倉庫の消耗品の在庫チェックを年1回以上行う。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①一般的な消耗品の在庫切れなし <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ②校内の施設環境整備のチェックを年1回以上行う。(費用の発生する工事、修繕等を除く) <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ②校内施設環境整備実績 1 回以上 		
<p>○資質向上の 取組及びチームワークの向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンプライアンス・ミーティングを実施し、不祥事根絶を目指すとともに、学校に関わる全ての人々から教職員が一層の信頼を得るため、言動に注意し、職務に励み、説明責任が果たせるように努めます。 <p>【活動指標】コンプライアンス・ミーティングを年1回以上実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒の実態に沿った教育課題等について教職員間で共有し、その課題解決及び一人ひとりの資質向上を図るため現職教育(校内研修)の充実に取り組みます。 <p>【活動指標】現職教育を年2回実施</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニケーションを大切にし、風通しの良い職場とすることで、教職員が同僚性を育み一体感を醸成できるように取り組みます。 ・ 様々な危機に対応できる体制の強化に努め、安全・安心な学校づくりに努めます。 ・ 校内ネットワークの管理に努め、統一校務システムを適切に運用します。 ・ 現状にあっていない内規の改訂、分掌内での引継ぎ資料の作成を適切に行います。 		
改善課題			
(年度末に記載)			

5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	(年度末に記載)
---------------------	----------

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	(年度末に記載)
学校運営についての改善策	(年度末に記載)